

第 1 1 回小平市史編さん委員会要録

- 1 日 時 平成 2 4 年 3 月 2 6 日 (月) 午後 3 時 0 0 分～午後 5 時 0 0 分
- 2 会 場 中央図書館 2 階会議室
- 3 出席者 市史編さん委員 6 名 (欠席 3 名)、事務局 1 0 名 (職員 4 名、調査専門委員 6 名)
- 4 傍聴者 2 名
- 5 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 部長挨拶
 - (3) 委員長挨拶
 - (4) 報告
 - ① 史料集および市史研究の刊行について
 - ② 平成 2 3 年度市史編さん事業報告について
 - ③ 平成 2 4 年度の市史編さん事業計画について
 - ④ 平成 2 4 年度予算について
 - (5) 議事
 - ① 近世編の執筆の内容確認について
 - ② 近現代編、地理・考古・民俗編の執筆状況について
 - ③ 各編の事業の進め方と今後の課題について
 - ④ 平成 2 3 年度調査研究の報告について
 - (6) 閉会

【配布資料】

- ・「こんなにだいすき小平市！」－小平市制施行 5 0 周年記念事業実施計画－
- ・史料集の刊行について
- ・市史研究の刊行について
- ・平成 2 3 年度市史編さん事業報告 (委員会報告)
- ・事業報告 (近世編、近現代編、地理・考古・民俗編)
- ・事業報告 (小平市史別冊 函録・写真集)
- ・平成 2 4 年度 市史編さん事業計画

- ・平成24年度一般会計予算書（抜粋・写し）
- ・「小平市史 近世編」確認資料
- ・「小平市史 近現代編」目次案（章／節／項）
- ・平成23年度 研究報告書（近現代編、地理・考古・民俗編）

<会議の概要>

1 開 会

それでは、本日の会議を、次第に沿って進めさせていただきます。

2 部長挨拶

日頃より、委員の皆さまには、市史編さん事業にご尽力いただきお礼申し上げます。

本日は、市史編さんの今年度の事業報告と新年度の事業計画を中心に進めさせていただきます。市史編さんは、いよいよ本編の刊行に向けて最終段階を迎えるところまでできました。これは、平成24年という節目の年を迎えたということでもございます。

このように市制施行50周年の年を迎え、50年という歴史的な節目を、ある意味では大きな契機として捉え、これまでの小平の礎を築いてきた先人の歩みに敬意を表するとともに、未来の小平を築いていく次の世代を育て蓄積を継承していけるよう、将来に向けての様々な種を蒔いていきたいと考えています。

本日配布の冊子「こんなにだいすき小平市！」は、市制50周年記念事業実施計画としてまとめたものです。幾つかの基本的なコンセプトに基づき計画しており、これら各種の記念事業をとおして、市民にメッセージを発信していきたいと考えております。また、この計画には、市史編さん事業を含め必要な事業の経費を盛り込んであります。

本日は、委員の皆様には、今後に向けた更なるご意見をいただきたいと考えております。ご審議の程どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員長挨拶

今、部長から市制施行50周年事業について話がありましたが、「こんなにだいすき小平市！」の16ページに事業群のイメージがありますが、市史編さん委員会としても、何か講演会といったような事業を企画できたらと思います。また、私の担当の近世編は10月20日に刊行を予定していますので、皆様のご協力を得て、間に合うように努力したいと考えています。

本日は、議事進行に皆様のご協力をお願いします。

4 報 告

- (1) 史料集および市史研究の刊行について

事務局： 配布資料に基づき、平成24年3月末に刊行する「小平市史料集近現代編 第5集 小平の近現代基礎史料」および「小平の歴史を拓くー市史研究ー第4号」の目次構成、発行部数、単価などを報告。

質疑等： これらの冊子は委員会として発行するのか、市史編さん室としてか。

事務局： 史料集は編集が市史編さん委員会、発行が企画政策部です。また、市史研究は編集・発行とも企画政策部となる。

(2) 平成23年度事業報告について

事務局： 配布資料に基づき、事務局職員から編さん事業全体の報告および、近世編、近現代編、地理・考古・民俗編、図版、写真集の各担当調査専門委員から、取組状況や課題について報告。

質疑等： ① アーカイブスの会の活動内容について説明してほしい。

② 図録・写真集の編集は、どのような状況なのか。

事務局： ① 図書館ボランティアとして、既に5年程活動している団体で、ホームページを立ち上げ、小平の歴史や文化を紹介している。玉川上水に関する資料は豊富と聞いている。

② 図録・写真集は、現在資料収集等を行っており、次回の委員会には目次構成（案）を出したい。

(3) 平成24年度の事業計画について

事務局： 配布資料に基づき、平成24年度に予定している事業の概要、事業成果物の予定、およびスケジュール案を説明。

質疑等： 索引・年表の作成準備を予定しているが、市史本編の編さん日程と重ならないよう配慮してほしい。索引・年表の準備は本編の刊行後に時間のゆとりを持って行うべきだ。本編に追加や訂正などが生じた場合、索引や年表も変更が必要になり二度手間になる。

事務局： 準備は、出来る範囲で行いたい。

(4) 平成24年度予算について

事務局： 配布資料に基づき、平成24年度の市史編さん事業予算（案）の概要を説明。特色としては、市史の印刷製本費が大幅に増えた。

質疑等： 印刷費が不足することはないのか。

事務局： 事前に見積りを取るなど計画に基づく予算づくりを行っているため、予算内でおさまると考えている。

5 議 事

(1) 近世編の執筆の内容確認について

監修者： 配布資料に沿って、見本原稿を説明。近世編の監修者として、「細目次内容構成」と出典の付け方、の2点を確認したい。出典については、3つの案を考えた。3案には、それぞれ長所、短所がありベストなものはない。編ごとに出典事項が異なるため、どのように出典を付すべきかご意見をいただきたい。

意見等： ① 細目次内容構成については、了解した。
② 出典の付け方については、市民が見るため、学术论文に見られるような形式にはしない方がよい。民俗編では、本文に出典を多用するのではなく、節の単位で出典を載せたい。
③ 出典の付け方として、本文にも出典を載せ、詳しく巻末に載せる方がよいのではないか。

監修者： 出典を括弧書きで表現するのは、年配の方には読みにくいのではないか。本文に※印だけを付けて巻末に出典を記載するのは、ハードルが高いのか。

意見等： 小川と小川新田とは場所が異なる。その違いを明確に説明できるようにすれば良いのであって、出典の表し方は任せたい。

事務局： 出典については、近世編と民俗編では異なるため、各編の監修者が、与えられたページ数のなかで解決してほしい。統一する必要はないと思う。

委員長： 近世編の出典の表し方および編集につきましては、監修者に一任したい。

(2) 近現代編、地理・考古・民俗編の執筆状況、及び各編の事業の進め方と今後の課題について

監修者： 近現代編については監修者代理である調査専門委員が、地理・考古・民俗編については監修者が、それぞれ配布資料に沿って説明。

質疑等： ① 近現代編の目次案に「玉川上水を守る会の活動」の項があるが、小平市教育委員会で発行した、小学校社会科副読本「わたしたちの小平」に間違っている個所があった。訂正したのか。小学校の歴史教育にとって重要な資料だ。
② 地理編について、小平は平らな土地ではなく、窪みがある。用水と窪みの関係、用水の水の浸透と自然な浸透について記載するのか。

事務局： ① 訂正して刷りなおすと聞いている。市史概要版は、小学校の歴史教育の視点から、手本になるようなものを作成したい。

委員： ② 小平に窪地があることは知られていない。地下から水が上がってきている場所もある。地理編では、地図を使い分かり易く説明したい。

(3) 平成23年度調査研究の報告について

監修者： 配布資料した報告書に沿って、調査・研究内容を説明。

質疑等： なし

6 閉 会